

## 2021 年度事業報告

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

一般財団法人中部圏創造ファンド（以下本財団と言う）は、NPO等をはじめとする民間公益活動を行う団体に対して、資金支援や人材育成支援等を行うことを目的に 2018 年 2 月 15 日に設立し、各種基金の設立に努めるとともに、休眠預金等活用法（2018 年 1 月 1 日施行）における資金分配団体の活動を進めてきた。

2021 年度においても、各種基金の設立・運営や受託事業の「東海ろうきん NPO 育成助成事業」とともに、休眠預金・資金分配団体活動について、「2019 年度選定・草の根活動支援事業」及び「2020 年度選定・新型コロナウイルス緊急支援事業」を実施した。また、新たに「2021 年度選定・草の根活動支援事業」及び「2021 年度選定・新型コロナウイルス緊急支援事業」も加わり、実行団体公募など 2022 年度に向けて準備業務に取り組んだ。

### 1 基金事業

#### (1) わたしの基金（冠基金）

##### ①水谷潤平教育基金

4 年目となる本年度は、5 万円を受け入れ（8 月 10 日）、「NPO 法人全国こども福祉センター」と「竹の子ボランティアサークル」に各 1 万 6 千円、「NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAMPN）」に 8 千円、を寄付（7 月 7 日）した。

##### ②ハルカ基金

2 年目となる本年度は、一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会から 60 万円を受け入れ（12 月 25 日）、同協会と本法人の協議の結果、「NPO 法人フロンティアとよはし（豊橋市）」及び「NPO 法人てほへ（東栄町）」に対し各 25 万円、計 50 万円を活動資金として寄付した。2022 年 1 月 21 日には、一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会理事長らと両団体を訪れ贈呈式を行った。

#### (2) いいね基金（共感基金）と財団応援基金

2021 年度、財団応援基金へ 5 者から 1,330,000 円を受け入れた。

### 2 休眠預金等活用法における資金分配団体としての事業

#### (1) 草の根活動支援事業 2019\_\_NPO 等による協働・連携構築事業（2023 年 3 月まで）

##### ① 中間評価など

- ・半年に一度の事業進捗報告書、及び、中間評価報告書の作成に向けた支援、報告書の点検、点検後のフィードバックを実施

##### ② 実行団体を伴走支援

- ・毎月 1 回の面談（オンライン、現場訪問）を行い、進捗状況を確認するとともに意見交換。
- ・協議体構築に向けての助言
- ・税理士と弁護士の専門家を必要に応じて派遣するなどにより、実行団体の会計支援やガバナンス整備支援

- ③ 事業の改善、組織基盤強化のための研修を実施（若者との協働、政策提言、評価）
- ④ 各実行団体の活動状況を紹介するパンフレットを作成
- ⑤ 実行団体の経費精算報告の確認

NPO等による協働・連携構築事業 実行団体名と実施事業名		
番号	団体名	事業名
A2コ0	特定非営利活動法人アイダオ	「孤独を生み出さないための居場所作りの整備～ コミュニティシネマの活用～」
A2課1	特定非営利活動法人侍学園スクオーラ・今人	U E D A次世代支援プロジェクト
A2課2	特定非営利活動法人上田映劇	「うえだ・こどもシネクラブ」
B1コ0	愛知県県営住宅自治会連絡協議会	多文化多様性の輝く保見団地プロジェクト
B1課1	県営保見自治区	子どもから高齢者まで、住民が考える多国籍団地自治
B1課2	特定非営利活動法人トルシーダ	つながりで作る多文化多様性が輝く地域
B1課3	保見プロジェクト（中京大学）	保見に新しい風を！
B1課4	外国人との共生を考える会	外国人による地域活動推進と多言語情報発信プロジェクト
C3コ0	特定非営利活動法人かしもむら	自然と生きる若者集団プロジェクト
C3課1	特定非営利活動法人 馬瀬川プロデュース	自然とふれあう活動による地域づくり事業
C3課2	一般社団法人Aichikara	山村地域における若者の体験学習と継続的な交流の場の創出
C3課3	学生団体 加子母木匠塾	若者の木造建築を通じた山村再生事業

(2) 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 2020\_\_生活困窮世帯や社会的孤立者への支援事業（実行団体助成 総額約1億円、対象事業期間1年）

- ・2020年度中に実行団体と資金提供契約を締結（別紙3参照）。

① 伴走支援

- ・毎月1回のオンライン面談
- ・全ての団体に各2回個別訪問し、進捗状況を確認するとともに意見交換。
- ・ガバナンス・コンプライアンス研修の実施
- ・各実行団体の実情に合わせた事業計画書および資金計画書の変更申請支援
- ・税理士と弁護士の専門家を必要に応じて派遣するなどにより、実行団体の会計支援やガバナンス整備支援をおこなった。
- ・JANPIAが実施する企業連携の事業を実行団体に案内および協力

② 創発会議の開催

第1回「オンライン活用の可能性と課題」（4月24日）

第2回「助成後も大丈夫？～民間公益活動の持続的展開に向けて～」(11月20日)

③ 各実行団体の活動状況を紹介するパンフレットを作成

④ 2022年3月末をもって事業を終了し、翌年度5月までに助成金を確定・精算。

- ・実行団体の確定助成額は、90,680,625円（返金3,258,200円）。
- ・各実行団体から事業報告を受け、監査を実施した。
- ・JANPIAへ資金分配団体としての事業報告書と経費精算報告書を提出し、2022年5月中には、助成額が確定する。

	団体名	所在地	テーマ	事業名
1	特定非営利活動法人 えんまる	長野県長野市	1・2・3	困窮ひとり親家庭に向けた子ども宅食支援 親子の「つらい」を見逃さない
2	特定非営利活動法人 コネクトスポット	岡崎市	2	ひきこもりの方々向けポータルサイト開設 オンラインから繋がる相談の入り口
3	特定非営利活動法人 愛伝舎	三重県鈴鹿市	2・3	子どもの居場所づくりと外国人への就労支援 つながるみんなのまちづくり
4	特定非営利活動法人 しんしろドリーム荘	新城市	3	テレワーク訓練による就活支援事業 知識技能とパソコンの提供で力強い回復支援
5	愛の実行運動本部	名古屋市昭和区	1	外国人生活困窮者支援シェルター
6	特定非営利法人 NPOホットライン信州	長野県松本市	2	コロナ禍の寄り添い型の多角的支援 コロナに負けない中部圏5県パワーUP事業
7	特定非営利活動法人 のわみサポートセンター	一宮市	1	ホームレス・生活困窮者自立支援事業 住・食・衣・居・職・医・学の支援
8	特定非営利活動法人 市民社会研究所	三重県四日市市	1	困窮者との食事を通じた実態把握と提言作成ー 持続可能な困窮者支援のあり方を探る
9	特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス	岐阜県恵那市	1	みんなで子育てフードパントリー たんぼと畑と台所を土台とした
10	非営利株式会社 ideai	日進市	3	ゼロからの就農・未来づくりプロジェクト
11	特定非営利活動法人 リネーブル・若者セーフティネット	安城市	3	若者Lab つながり・学び・働く準備の場 「社会で使える実践スキル」を身に付ける
12	特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター	名古屋市中村区	1・2・3	孤立を防ぎ居場所を創る生活困窮者支援 withコロナ時代の支援モデルの構築
13	外国人ヘルプライン東海	名古屋市中区	2	地域の相談機能の強化をめざして 他団体の相談事業バックアップサポート
14	特定非営利活動法人 フードバンク愛知	北名古屋市	1	東海地区子ども食のセーフティネット構築事 業 新型コロナウイルス対応に伴うフードバンク事 業
15	特定非営利活動法人 ミーネット	名古屋市中区	2	ウィズコロナ時代のがん相談システムの構築 オンラインでつながる支えあう乗り越える
16	特定非営利活動法人 ひろがり	名古屋市港区	3	コロナ禍での重症児への子育て支援 ～食べる・ふれあう支援の研修動画配信～
17	特定非営利活動法人 介護サービスさくら	名古屋市名東区	2	ICTを活用した新たな生活支援事業の推進 コロナ禍を生き抜く新しい支援活動
18	一般社団法人 アスバシ	名古屋市熱田区	3	早活キャリアで脱貧困！オンライン進路相談 コロナ禍で進路不安定化する若者への支援
19	わっぱの会	名古屋市北区	1・2・3	生活困窮者(世帯)緊急総合支援事業
20	特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	名古屋市中区	2	東海地域の難民のための緊急支援事業

## テーマ

- 1) 子ども及び若者の支援に係る活動
- 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
- 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動

(3) 草の根活動支援事業 2021\_\_チームによる支援活動の広域展開 (2025 年 3 月まで)

- ・名古屋学院大学 (実行団体の出口戦略等を検討する役割) と資金分配団体コンソーシアムを組成。
- ・2021 年 11 月 8 日、一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (J&NPI) と資金提供契約を締結。
- ・2021 年 12 月 13 日～2022 年 2 月 14 日、実行団体を公募し、12 コンソーシアム申請。
- ・2022 年 3 月 13 日、選定会議 (オンライン開催) により、4 コンソーシアムを選定。
- ・2022 年 3 月 18 日、理事会を開催し選定会議の推薦どおり 4 コンソーシアムを実行団体に内定。
- ・2022 年 4 月 7 日、オリエンテーション (契約に向けた説明会) 実施  
CCF と内定コンソーシアムにより事業計画、資金計画を協議してブラッシュアップ
- ・2022 年度 5 月、実行団体と資金提供契約締結を予定。

コンソーシアム名	事業名	幹事団体	現場団体	対象地域
LivEQuality 連携を通じた母子家庭の居住環境改善事業	母子家庭等住宅確保困難者に対する、居住から自立まで一貫通貫サポート事業	(特活) LivEQuality HUB	(特活) LivEQuality HUB 千年建設株式会社 (特活) おてらおやつクラブ	名古屋市および周辺
あいちホームスタート コンソーシアム	ホームスタートを核とした、公民連携による地域の子育て支援力の向上と母子の健全育成	(一社) 地域問題研究所	(一社) 地域問題研究所 (特活) NPOまんま (一社) あ・そ・ぼ (特活) Smiley Dream (特活) はんどいんはんど	愛知県
ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク	ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築事業	(特活) 可児市国際交流協会	(特活) 可児市国際交流協会 (特活) 美濃加茂国際交流協会	岐阜県
子育て応援パートナーズ	生きづらさを抱える人たちを地域で支えあうネットワーク強化事業	(特活) 愛伝舎	(特活) 愛伝舎 (特活) shining いさやまワイワイハウス (一社) 家庭教育研究センター ふあす	三重県北勢郡

(4) 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 2021\_\_生活困窮世帯や社会的孤立者への支援事業、もう 1 歩寄り添ってみよう (実行団体助成金約 1 億円、対象事業期間 1 年)

- ・2022 年 3 月 16 日、一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (J&NPI) と資金提供契約を締結。
- ・2022 年 3 月 22 日、実行団体を公募開始。2022 年度当初の実行団体内定、資金提供契約締結を目指す。

**3 東海ろうきんNPO育成助成事業 (東海労働金庫から受託。2019 年度から毎年度実施、NPOへの助成総額は年約 1000 万円)**

(1) 2021 年度助成

①助成先団体の選定

- ・2021 年 4 月 4 日 (日)、5 名の運営委員による選考会を実施して別表のとおり助成団体を選定した。

②採択 17 団体に対する助成金交付式・説明会、会計担当者向け研修を実施

○助成金交付式・説明会

- ・日時：2021年6月7日（月）14時、場所：東海労働金庫本店大会議室（名古屋市中区）
- ・内容：助成金交付式、事務処理等の説明

○会計担当者向け研修

- ・日時：2021年7月4日（日）10時、場所：オンライン
- ・内容：会計報告の作成の仕方や証憑の取り扱いなどについての解説処理等の説明
- ・講師：中尾さゆり（会計アドバイザー、税理士）

③伴走支援

- ・運営委員（若しくは所属団体会員）と本法人の役職員の2名1組で当該団体を訪問し、事業の進捗状況を確認し助言等を行った。
- ・実施状況：全17団体を対象に9月から10月、及び12月から1月の2回訪問もしくはオンライン面談を実施

A 新規事業創出部門

団体名	事業名	地域	助成金額
特定非営利活動法人愛猟	地域で解決できる鳥獣被害対策プロジェクト	豊田市	30万円
特定非営利活動法人参画プラネット	公共サービスにおける「エッセンシャルワーカー」ジェンダー視点で見える化プロジェクト～ステップ1／2021年度	名古屋市	30万円
NPO おたがいさまの家「あいあい」	NPO おたがいさまの家「あいあい」の設立及び運営	知立市	30万円
マドレボニータ東海TOMOS	赤ちゃんを迎えるすべての家族に産後ケアの知識普及・啓発事業	桑名市	30万円
東海ナレッジネット	図書館・行政・NPOがつくる知の情報基盤創造事業～ファシリテーション実践研修～	名古屋市	29万6千896円
特定非営利活動法人こころをつなぐホースセラピーぐりん・はあと	生きづらさを抱える子どもや親の居場所づくり事業、竹内延彦講演会&交流会	本巣市	30万円
一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ	仕事と治療の両立支援のための患者向け情報提供事業	名古屋市	30万円
ダブルケアパートナー	ダブルケアラーとピア・サポートをつなぐアクセシビリティ向上事業	名古屋市	30万円
特定非営利活動法人愛知難病団体連合会	「あいちの難病サポート」（仮称）ホームページ作成事業	名古屋市	30万円
特定非営利活動法人ながいく	長久手市の子育て家庭の繋がりづくりと乳幼児家庭の食環境を向上させるための親子食堂事業	長久手市	30万円

## B 事業の継続発展部門

団体名	事業名	地域	助成金額
認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋	切れ目のない食の支援により、子どもや母子家庭への自立支援の活性化を図る事業（社会的養護の施設と連携したフードバンク活動）	名古屋市	100 万円
特定非営利活動法人子ども & まちネット	障がいのある子ども・若者の性と生の理解と支援事業「変わっていく思春期の「からだ」と「こころ」を大好きになる」2021	名古屋市	100 万円
特定非営利活動法人名古屋おやこセンター	社会的養護の中にある子どもたちのワクワク体験事業	名古屋市	100 万円
特定非営利活動法人飛騨高山わらべうたの会	今こそふれあいを！誰も孤立させない子育て親子向け定例活動と出張講座	高山市	100 万円
特定非営利活動法人せき・まちづくりNPO ふうめらん	【アオハルし放題 in 岐阜 福祉で働きたい／興味を持つ若者を育てるプロジェクト 若手職員×高校生による福祉の課題解決型探究】	関市	100 万円
特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた	里山の日常（＝「ケ」）から関わりを耕すプロジェクト	岡崎市	100 万円

## C 組織強化部門

団体名	事業名	地域	助成金額
NPO 法人つながる子育てにじいろ	専門家の視点を取り入れた組織の土台固め	名古屋市	100 万円

### ④実績報告会

- ・ 10 月の中間報告及び 22 年 2 月の事業終了後の実績報告を踏まえ、実績報告会を実施した。
- ・ 日時と場所：3 月 28 日（月）13 時 00 分～16 時 45 分、東海労働金庫本店大会議室（名古屋市中区）
- ・ 内容：各団体の発表と運営委員のコメント、質疑。

## 4 理事会・評議員会の開催

### ① 2021 年度第 1 回理事会（オンライン）

日時：2021 年 4 月 22 日（木）

議案：「2021 年度事業計画及び予算」、「評議員選定委員会設置」及び「2021 年度定時評議員会の招集」を承認。

報告事項：（1）休眠預金\_草の根活動支援事業「NPO による協働・連携構築事業」の活動状況

(2) 休眠預金\_新型コロナウイルス対応緊急支援助成「生活困窮世帯や社会的孤立者への支援」の活動状況

(3) 東海ろうきんNPO育成助成2021年度助成団体選定結果

(4) ハルカ基金（一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会によるわたしの基金）設置

(5) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告（2020年度下半期）

② 2021年度第2回理事会（オンライン）

日時：2021年6月2日（水）

議案：「2020年度事業報告」、「2020年度決算報告（監査報告）」、「休眠預金等資金活用法に基づく資金分配団体の申請」、「任期満了に伴う理事・監事の改選案」及び「顧問・政策委員の選任」を承認。

報告事項：（1）資金繰り表

（2）評議員選定委員会開催結果

③ 2021年度定時評議員会（オンライン併用）

日時：日時：2021年6月21日（月）

議案：「2020年度事業報告」、「2020年度決算報告（監査報告）」及び「役員改選」を承認。

報告事項：（1）2021年度事業計画及び収支予算について

（2）評議員選定委員会の開催結果

（3）休眠預金資金分配団体としての活動状況

ア、草の根活動支援事業 2019「NPOによる協働・連携構築事

イ、新型コロナウイルス対応緊急支援助成「生活困窮世帯や社会的孤立者への支援」

ウ、新たな資金分配団体公募への申請検討

（4）東海ろうきんNPO育成助成事業について

④ 2021年度第3回理事会（みなし決議による）

日時：2021年6月決議

議案：「理事長の選定」及び「業務執行理事の選定」を決議。

⑤ 2021年度第4回理事会（オンライン併用）

日時：2021年10月25日（月）

場所：愛知県林業会館 2階研修室

議案：「休眠預金事業\_チームによる支援活動の広域展開」資金提供契約と選定会議の設置を承認。

報告事項：（1）2021年度上期事業の進捗状況

（2）理事長及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告

（3）資金繰り表（2021年10月）

⑥ 2021年度第5回理事会（みなし決議による）

日時：2020年12月決議

議題：「休眠預金・チームによる支援活動の広域展開における実行団体公募要領」の公開を承認。

2021年12月分賞与支給を承認。

⑦ 2021年度第6回理事会（オンライン併用）

日時：日時：2022年3月18日（金）

場所：愛知県林業会館 2階研修室

議案：「休眠預金事業\_\_チームによる支援活動の広域展開」実行団体を選定会議の推薦どおり承認。

「休眠預金・生活困窮世帯や社会的孤立者への支援」の JANPIAと 資金提供契約締結、同選定会議の設置及び実行団体公募を承認。

貸金規程において、これまで12月と3月に支給していた職員賞与を、2022年度から7月と12月支給に改正することを決議。

2021年度3月分の職員賞与支給を承認。

報告事項：

(1) 休眠預金事業の進捗状況

- ・草の根活動 2019「NPOによる連携協働構築事業」
- ・コロナ緊急支援枠「生活困窮世帯や社会的孤立者への支援」

(2) 資金繰り表（2022年3月）

## 5 事務局会議の開催

本財団の業務執行理事と事務局職員による事務局会議を開催し、業務の進捗状況、課題、取組方法などを議論した。本年度は全てオンライン開催とした。

原則として毎週木曜日、計51回開催した。